

W20 スペシャル・セッション②「患者や介護者としての女性の就業:健康格差の是正による男女平等と労働参加の向上」

現状・課題

病気の中には女性に顕著にみられる疾患も多く、それが女性の社会参画への弊害となったり、社会経済の発展において機会喪失を引き起こしかねない場合が少なくない。

また家族に病気や医療問題が起きた時、女性は介護等によって重い負担を強いられることになる。

このセッションでは、神経疾患などの特定の疾患が、患者や介護者としての女性の就業にどのような経済的・社会的影響を及ぼすのか、また、こうした課題に取り組むことで、どのように女性の労働参加と職場における男女の機会均等の改善ができるかについて、皆さんと一緒に考えたいと思います。

論点

- 多発性硬化症(MS)など女性に高い発生率を有する疾患が存在する中で、平等な就業機会を提供するために企業及び行政はいかに取り組むべきか？
- -家族の一員として、また、主要な介護者としての役割を担う女性にとって、自ら、また、家族の疾患による影響は計り知れない。こうした状況に対する認識をいかに高めることができるか？
- - 疾患を抱える女性の労働市場へのアクセスを容易にするためには、どのような公的支援が必要か？
- -疾患を抱える女性がキャリアを築いていくうえで、他と遜色ないキャリアアップの機会を確保し、また、職場で疾患についてオープンに話し理解が得られるインクルーシブな職場環境を確実に醸成するために、企業および行政ができること、すべきことは何か？